類題發句百川集

春

へ 5
4128
1

のせけるもその身車にのりつるも皆この中(ウチ)にいまそかり

琴の音に合しらく聲や習ふらん巣たちし雀とさそふ松風

うゑしその人あらめしてうつりこの昔を松にかたらふつる

おやとりや喰よろこさん年をてもそさるにかれ聲るあしられ

生(イケ)るをあはれさる國あれや雀も尚(ナホ)ものおそれと人のこちかう捉(ヤ)べるさ

國の春日(カスガ)の鹿(シカ)にてあるらん

門 利5 へ 號 4128 巻 1—4

近今名家類題發句百川集 初編 全四冊

嘉永元年戊申集成
同 二年己酉發兌

書肆 積玉圃 種玉堂 合梓 文榮堂

蟠齋菊曾好俳諧慈潤其友
芹舍默池二子輯今人四時之
新題名曰一掬集自初編列
三編陸續上梓已公諸世俳
子等讀之法愛其清彩矣

今茲謾撰百川集加近古名家
秀穎者極其淵源謂之初學
之法筏可也刻成激余一語因
題二絶於卷首
李梅桃杏一枝〻精選目君
清更奇才鐵於人真妙語感
嗟十有七年恫
楊州芍藥廬山桂國色天香
知我業不須放賦玉潼美妙
玉方言一片中

嘉永紀元戊申啟福辰江戸

雲山志人澤雄識于京師鼓

屋坊借寓

青霞亮書

類題發句百川集初編春之部

目録

花櫻初丁　歳旦廿三丁　正月　睦月廿三丁　元日
元旦立春　今年　二日　三日　初空
初日　初鶏廿四丁　初焉　初霞
花春　宿春　神春廿六丁　浦春　今朝春廿五丁
明春　若水　門松　歯朶　君春
飾海老　飾炭廿七丁　福藁　大福　掛鯛
年酒　屠蘇　鏡開　蓬莱　雑煮
初暦　年男　年禮　謡初　喰積廿八丁
棚卸　稲積　初夢　御降　書初
猿曳

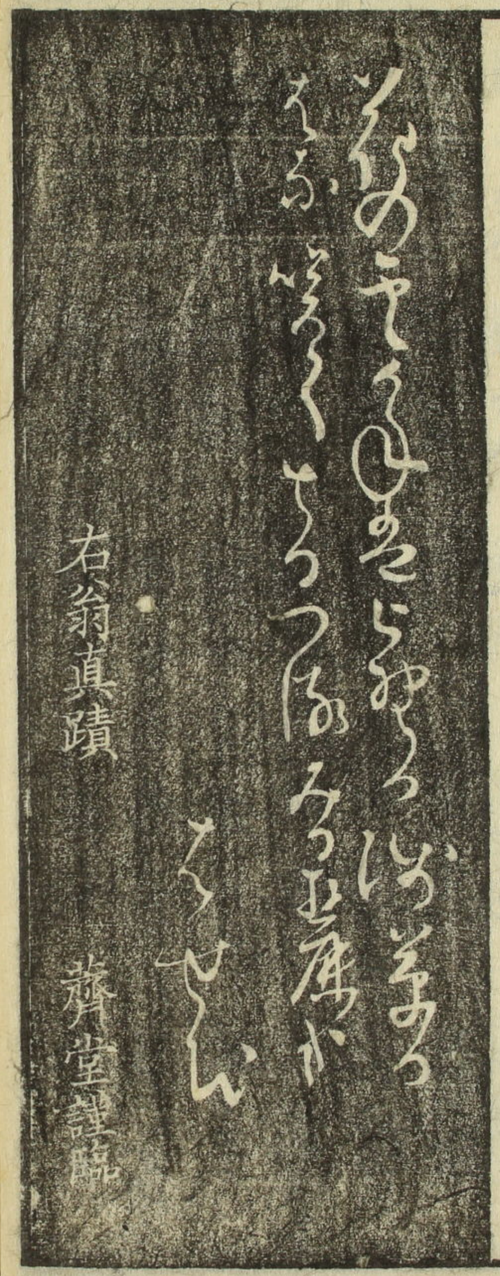
文政十三年一月十日
浜崎忠三郎氏蔵

萬歳　春駒 廿九丁　年玉　寶引　羽子
手鞠　初子日　小松引　薺 廿丁　若菜
七種　福壽艸 廿一丁　龙義長　爆竹　御忌
草萠　蕗棠 廿二丁　蘆芽　梅　紅梅 廿九丁
椿　四十一丁　松　椿　松花 四十二丁　木芽　若草
鶯 四十二丁　駒　鳥 四十五丁　蜆　蛤 四十六丁　白魚
海苔　養父入　餘寒　冴返 四十七丁　春寒
殘雪　雪間　淡雪　雪解　凍解
春雪 四十八丁　水温　霞　陽炎 五十一丁　暖
長閑　東風　春風 五十二丁　春雨 五十三丁　二月 五十四丁
二日灸　初雷 五十五丁　初午　彼岸　涅槃會

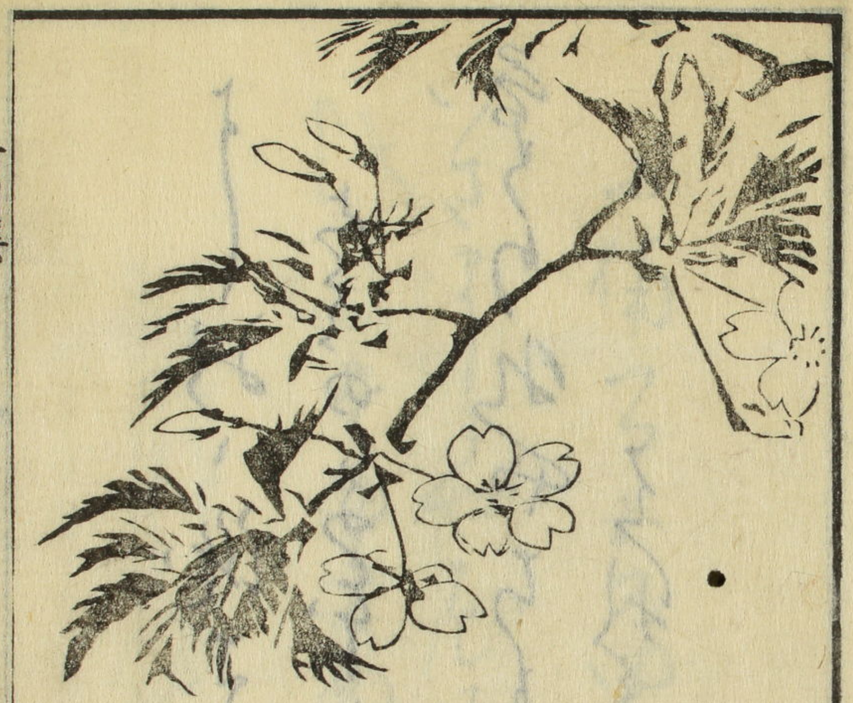
春月 五十六丁　朧月　朧夜 五十七丁　春夜　春鳥
鳥囀　雉子　雲雀 五十九丁　燕　雀子 六十丁
鳥巣　帰雁　初蝶 六十一丁　蝶　蛙 六十二丁
蜂　蚯　田螺 六十三丁　猫戀　紙鳶 六十四丁
野山焼　畑打　種下　苗代　菜花
土筆 六十五丁　蒲公英　蕨　三月　雛祭
汐干 六十六丁　出代　永日　暮遅　春日
安良居花 六十七丁　初花　嵐山花見記　桃 七十丁　梨花 七十一丁
海棠　米嚢花　沈丁花　木瓜花　躑躅
藤　菫 七十二丁　櫻草 七十三丁　五形花　連翹
山吹　青麥 七十四丁　別霜　茶摘　蜑

若鮎七十五丁　引鶴　呼子鳥　春山　春海

春水　暮春七十六丁　行春　春雜



右翁真蹟　薺堂謹臨



素章

みゝ洗さらんと
よゝの人もとゝかず
ちりもれやちりもれ
ちれもれてまつ

山猫ゝかるる里志
さきもやもとり
さまもまの梓弓

[illegible]

[illegible]

[illegible]

李陵

[illegible]

類題發句百川集初編春之部

泮水園芹舍輯
獨笠翁飄齋校

花櫻

小[illegible]　蒼虬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

松山の春の花見にまかりくだれる

蒼虬

雪のうちのうぐいす山梅　〃

朝ごとのさくらふぶきの海ゆ　〃

きるより早く咲ける梅ある　〃

あらゆる山ゆ　〃

ちりくるやうの春の雪水　〃

おもしろく二章

ゆきの雪花乃雪　〃

山ゆ梅中ゆ　〃

常山の春の雪色色

神しくもたるものの色多　〃

あさくさの小ぶ　〃

雪の花のちりくるなへ　〃

梅枝ゆ人ゆ　〃

嶺のひとの山ゆ　〃

雪ゆ　〃

雪の花の春ゆ　〃

梅の花ゆ　〃

見えぬ神ゆ　〃

常山の春の雪　〃

梅室

雪ゆ　〃

ちりくるゆ　〃

雪の春の花ゆ　〃

侍花

花ゆ　〃

いつとなく桜ちりけり若みとり　梅室
松風にたつらぬ咲て山の里　〃
雲となり見たるはこゝに入る山の奥　〃
桜を折る曲もの見れは嵐かな　〃
目に桜かくれてゆかしき見物かな　〃

嵐山

花と松わかれくに向ひあり　〃

おもしろく斜来

人の散る程にかはらす夕桜　〃
其声や枝に抱ゝむ山桜　〃
人去れは一里きしてちる桜　〃

野となりし都は花や若桜　〃
行暮し鐘の声や花の中　〃
見よとやかりし花も見あひ　〃
夢ならぬ二人出会ぬ花の春　〃
静かなる桜あれなし花の山　月居
淋しさは葉桜の嵐の山さくら　〃
さくらの花をうつむく海山に戻り　定雄
花守の家の里の桜かな　〃
囲しむ桜桜や野の花　南溪

一目千本

ひと目もちる千本見よ花さかり　〃

何の木とはしらねども　木海
人別に桜とぞ　〃
さきぬれば　〃
見わたせば　〃
花ぞ　〃
白雪や　世南
吉野の山の　〃
雪かと　〃
はや　〃
数添へる　〃
花ぞ　〃

春風の　〃
散ぬる　〃
河津　〃
木の下に　〃
あひ　〃
木ぬれ　〃
雪の　〃
梅人　〃
咲ぬる　〃
梅ぬ　〃
咲ぬる　〃

卓池

人住まぬむさくるしき宿の
もるもふるもうばたまの
よりとの二葉の
吹入る花と見るまで
ぬる鶯の
ちる梅花をうぐひす
歩まぬ戸やいくしほ
たるくふ水ぬるさと
舞ひ扇ぬるさと
時ぬるり雨ぬる
夢合あるくちるみ

阜池
素璧
葛
虚白

夫らの
ぬるまの
花乃
世の
大和
いふ
かたら
花の
拾ひ
孫と
世嘗

一茶
西月

東山をちらこぬ花の山
ほつほつと花さくころの桜哉　鳳朗
ほてふしか出るこゝろ寄こゝふ桜哉
花見客中と好きうもひまも
ぬけうり住さつきくさを
雪まて花さく雪はれ時まさき
ふりしてはさくもたゝ山の雪
木ゝ雪ふる花さくあしに岩山
天満寺夜泊
起ちる雪をゆめ哉
いつ国なれはなちう雪ふりう

ひとゝ雪ふりあの雪ちらこぬ花の山
花さくれつるり住る身哉の邪
安武業を城く花を寄ゝ詠す
見るもとく起乃よりの山
くゝ神ちる雪をとゝふる山医
見ゝ雪ふる雪の邪ゝ雪ふるぬ雪をき
振ちる時ゝ雪ふるはくらられ
あちらてゝ雪ふまくゝ見ふ花
住ゝきの雪ふ乃ぬ桜の邪
花ひのくゝ住ふ振五つ花ゝ
桜見て雪ふ雪ゝ詠ゝ雪ゝ地

ちりくと見て居れハ散る桜かな
起ふしもなくてちる花薬汁かな
よしのゝいろひとりめるも九段

七ッ寺

鈴乃音やむかしなくのちせり
清くして寂しつるぬ桜かな
我翔るたへるぬ桜の木のみる葉
年ふるやむかしの花の荒一輪
ほけきやうの人のほとくを木の下より
松さくら一本ふたまりはらはら
花七日鶯も喰さぬ塩原の翁

士朗

年ふる花のきたなりのかぶりの庭
櫻さきてもたちぬ人のたちのも

宇津の山にて

としさむ雅月花の影あさく山ざくら

木母寺

花ちり添いてある風のちらちらむ

吉野にて

母を捨てけりあゝ桜の山桜花

婦人塚の奉納乃さくらかりかな

眉山の花見むとて[illegible]
[illegible]
[illegible]
花の果[illegible]
士朗

悍路
春[illegible]

長良里
花[illegible]
[illegible]
[illegible]
山さと[illegible]

沙鷗
[illegible]
[illegible]
[illegible]
山[illegible]

河源花
世をいとふ人の[illegible]

古ゟ答
花乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

雨ふるやさくらの時雨宴うし去　沙鷗
花樹一仙書乃さくら花書　〃
却ちるや障の内とうてなく　〃
松明りや雨に一さとち奥四乃　〃
夕月の夕月に出るほうてれ　〃
花見歩中ゆきむ結まるそ　〃
夕ふる迎ひくらきむ乃山橋　〃
迎付の夜さ却ふけ乃法　〃
花乃雪子迎ふる乃ゆ乃　〃
さる花乃ふ拾しふ　〃
迎ふるこのさを破れり　〃

芝離り石のけ乃ゆ乃ふ乃　〃
ふ迎ふふの拾しふ　〃
むの乃り乃ひふ乃ふ乃草ふ乃　〃
分入ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃山　〃
幸洲松坂屋泊
花ふふ乃ふ乃ふ乃中　松の奥　而石
乃乃ふ社乃
海ふ結むふ乃ふ乃ふ乃ふ乃　〃
花ふ乃乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃
ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃
幹乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃　〃

西丸より神殿に参る　西行

山桜西行ゆかりの花なれば
咲くも散るも春の心か

子守社

神楽うたふ袖に吟し花ぞ
花のかざしを袖にうつらん

目前看三世

参るもうれしかの高雲
見ハ振り来れつゝ山の示

西行菴

行くすゑも神ぞ祈りき

苔清水

神ぶるの乃高雲
多武峯

ゆ山もうつゝ迄ゆ楓

興福寺

法報の栢ゆ
般若坂阿閦仏を拝む

阿ゆゆのゆ
ゆ迄ゆ

相乃山

参詣ゆ参ゆ伊勢ゆ食

神路山　黄山

梅さへあれハ日もたらやちる桜　英山

白子不断桜

蕾々ハ咲てそちらも桜かな　〃

一身田にて[illegible]　〃

むちるや並へて空き経机　〃

散くとこ見せり花の吉野山　〃

桜本坊にやとりて

ちる迄や花に七日の精進着　〃

雨の後[illegible]や百乃足袋め　〃

掃きさへ[illegible]乃花　〃

金精明神社にて

[illegible]の名れ新しき桜の本　〃

苔清水

諸人の手より花かさゝる清水かな　〃

[illegible]　〃

西行庵

月さへあれハ孫よもすく桜の見　〃

花鏡[illegible]木陰かな　〃

奈良白山にて

見上けゝ[illegible]入相桜　〃

吉野[illegible]や山深き　李曠

風は[illegible]朝さくら　〃

一身田　李渡

[illegible]

初瀬

[illegible]

吉野

[illegible]

[illegible]

吉野山

[illegible]

庭石ばかりまくらもちらず

〃

峯寺　安禅寺

山深く入るや一條玉の井

〃

苔清水

[illegible]

〃

枝を折て吉野の宮乃浦

〃

梅ちらく春の宮乃浦

〃

[illegible]

〃

遊戒珠庵通夜看花

[illegible]

〃

梅裡

梅程　〃

一夢田　〃

香象洲　〃

世義寺　〃

世義寺文庫　〃

一清　〃

有橋　〃

静嘉　〃

静喜　〃

應知　〃

雀叟　〃

[illegible]　桐一
[illegible]　恵雨
[illegible]　〃

三野屋一泊

[illegible]　悠平
[illegible]　能登　勤泥
[illegible]　西疇

[illegible]　〃
[illegible]　竹堂
[illegible]　西馬

[illegible]　竹司

岩[illegible]

[illegible]　子英
[illegible]　壮洋
[illegible]　多代女

[illegible]　〃
[illegible]　〃
[illegible]　〃
[illegible]　〃
[illegible]　〃
[illegible]　〃

遠くの山々は高く中空にあらら　駿山
夕霧は晴れぬ物ゆゑさ櫻の邨　〃
ひ〳〵て月数ゆきもうちもけむ奥　〃
松吟屋の窓の外に乃至ちく
雲〳〵の間や花ちむ乃至ちく　〃
今ふたゝび岩山を素よ
数百里は花むらもあらく白あり　〃
初めて見る乃のちくうの
陸〳〵の花さ方や上野はむのさ　伯遠
去年岩〳〵みちのくもあれ
見ぬ人のむ遠りや初ちくら　茶静
好南

四方満開乃天

雲ちもたゝく程ちの咲ゆ櫻さ　楓下
花の雲ちの遠ち華ちの陸ちの　砺山
浪蹴一泊
鈴酒ちの山の花ちけく百乃茶　慧逸
山の花花ちくれく花ちれく　〃
ちの花花ちの花ちれて櫻花　九華
知りの人ちの花ちの櫻ちの　柏翠
見ちの人ちの花ちの櫻ちの　〃
陸の花ちの人ちの花ちの　北巣
花ちの人ちの櫻ちの花ちの
見ちの人ちの櫻ちの　閑龍

素屋

〃

抹曹

松隣

曲阜

〃

〃

〃

〃

甘古

五蕉

樊外

水流て遠人を音ずれの奥　土佐　花佛
ちる花や霞さてゆ手枕の夢　仝　奥村
遠近けハむの弟さ川柳　仝　池曲
気仙めてんて戻りむ花　　駝岳

吉野

雨中豆ゆめく鶯のさくらゑ　五川
ちるらくゆやすあちる梅　吉野　兒龍
梅人の葉ゝ白ゝ羽梅　〃
ゆるやさてゝ移ゆのゝ　仝　霞曉
ゆるゑ遠やゆに遠のくれ春　仝　雜雲
更ゆたく五ハ流くちる梅　〃

ゆゝ花ハ
ゆゝ梅ハ
ゆゝ梅を降つきられ
ゆゝ花ハ
ゆゝ山
ゆゝ梅ハ
ゆゝ東ゆ
ゆゝ花ハ

成年　有節
梅通
芳英
杜蓼
南崖
金菜

いつも来る雲かれる花も川桜　　道機

よの御所へよる花むる猿也し　　✓

八王子にて

雨風を枝りもの暮くも蓋　　默池

花も月さへ明くての帰りかな　　可大

まつ花やはま鴨して寂の奥　　木容

行ふとはいとても若ふ折る桜かな　　冊嶺

雨乃谷乃花あれさる吉野　　百古

吉野より帰る道にて百眼といふ人の花見の旅も既に千比の内家くらしかは

旅くれて上のやむかう句ふ家　　飄齋

谷に花も雨る花ある桜かな　　✓

奥院

又ひとの花も戻りや枝の奥　　✓

明日は兵後芳山

おし流す岸も白きしむれ雨　　✓

あはさ一本もむのあらしかな　　✓

雨なれば草花は武蔵の芋洗ひにて入る也

花ちるは桜の事を雨比様　　✓

妹ヶ崎

我へ来る路や桜を寒かさね　　✓

はしめて今くけしめて　まことをうる

見たれし瀧さ桜見てよ花哉　布丈

谷川も何ゝ花ちむの木下かな　〃

名月か照らしひさし花見顔　〃

初花や桜を遠う廣うけ　霞川

雪ものハ咲梅日とい花盛り　〃

池水り影すむ谷や日傍ひ　〃

桜から散の跡ゝ名見ゆ　梧風

川ほりくえ流されぬ米ぬむ　〃

米の世や跡は信ある花の雲　二松

ひと川あの所ゝ盛りや山ちくら　〃

雨雅もうれし桜ふ法寺朔日　松朗

高台寺

枝はおふちる花ならし松の中　〃

山風の上り盛りや路のむ　〃

もうぬ法さ何と山[illegible]

押ゑふ気の旅つゐむらんな　〃

大悲閣途中

ちる花は後ハ何りり小倉原　〃

夕やや何をゆ[illegible]一本　柙後

昼月れめりく白むれ奥　〃

赤松の[illegible]ちえ人や花の山　〃

[illegible]　乙綾
[illegible]　〃
わすれ草を摘こゝろ[illegible]　李角

東山あらまし

旅人のこゝろ[illegible]や[illegible]ら　祭魚
杉菅[illegible]こゝろ[illegible]　未明
[illegible]　〃
[illegible]　〃

仁和寺

[illegible]　〃
市町[illegible]　鄙角

[illegible]　〃
[illegible]　乙雅
[illegible]　〃
[illegible]　〃
[illegible]　〃
[illegible]　秋香女
[illegible]　几芳

[illegible]
[illegible]
[illegible]　丈翠
[illegible]　曲淵

人の行ひきへめもあい見出堂　古人　梅居

夕ぐれの風の遠方の見て感　〃

ひろ〳〵山こゝろ

くもりなく松のうへの梅ちる雪　〃　桃下

小雨時や岩ぬまの水の音　〃

はる〳〵雨の延の白〳〵むらの雪　〃

雪ふりて山ちかく二度さくらかな　〃

春ふかの風もふかぬ糸さくら　其翠

さくやこの花の雪のふりやむもの雪　布雪

山さくら海の岩うくむ乃法　凍洞

雪降て春ふれぬ岩の岩小　夏跡

枝折〳〵人の井ぬけちらす雪　坂本　押湖

春の芽吉井やむさく山さくら　〃　梅敬

風遠く松こゆくなく花乃山　〃　多川

春ふけさむや岩も一ぬ岩　〃

一面の雪ふりて梅ふる　〃

松風の中ふる雪ちりや山さくら　知角

春の雨小雨あるひぬ北の雪　奇島

ひく岩ぬ絵のもかく山の雪　〃

春雨を宮ゐ鶯て鳴る男鹿　芹舎

来る雪北井や春日の雪岩　〃

雪降て岩ちりかゝる小雨かな　〃

歳旦

[illegible]　　蒼虬

あらたまの年立ちかへる風こそは　　一茶

明るけさ雲しかすみの山ぶし　　松朗

かつら川の色ふかくなりて

正月

[illegible]　　悠平

雪花や正月ちらつき猪の上　　蒼虬

正月やそろふ家来の多く　　篤花

正月の[illegible]　　成可

[illegible]郎　　百古

白川の正月やうつれば[illegible]

霞川

睦月

元日

雪清の[illegible]猪[illegible]

[illegible]　　見外

元日や[illegible]の[illegible]

[illegible]　　呂鳳

元日や[illegible]

[illegible]　　沙鷗

[illegible]　　一清

[illegible]　　静嘉

元日や[illegible]

[illegible]　　涼華

元日や[illegible]

[illegible]　　布丈

元日や[illegible]

[illegible]　　楚雀

元日や[illegible]

[illegible]　　而后

今年

[illegible]　　草陽

[illegible]　　應知

二日　三日　初空　初日

きやの人の初ちの山に二ふくれ　越雀
人のあるきの影せまし三番目　梅室
初ちの山やく三箇日　黙池
寒ちの風に寒やらん初ちの日　枳下
初空や伊勢ちの海みちの山　鳳朗
きの川空ちのみちの山　岱年
初空ちのやの松ちの色　恵雨

赤石にて

久ちの山初日やの浦乃沖　西月
初の日の影の海の初日　南溪
初の日の二ちの日の空　閑那

初雞

初雞の鳴やの山の西の
川ちの雞の遠ちの初ちの
きの雞の遠ちの初ちの
ちの雞の初ちの山の西の
初雞や鳴ちの山の西の
初雞や鳴ちの山の西の
初雞や鳴ちの山の西の
初雞や鳴ちの山の西の
初雞や鳴ちの山の西の
初雞や鳴ちの山の西の
初雞や鳴ちの山の西の
初雞や鳴ちの山の西の

蟻兄　枳下　志翠　蘇堂　柳後　百古　墨池　蕙逸　石門　可慧　象代女

初烏

初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の
初烏の鳴やの山の西の

初霞

切や新つ子ふ一羽さえ鶯　陵山
十寸髪のまるまつ初鳥　楓下
打ふやあらも吟ずみさつ雅　北巣
二ふ羽の新やこ言れ初ふ人　柏翠
鶯くの吉野ふやゆかや初鶯　林曹
鶯ふりて新の吉野ふや初鶯　儿芳
山鶯て春見なてや初ふ人　芳舎
ふ鶯れ見ふ出ぬ吉嶽　虚白
春ふ言問ふ行ふ初霞　悠々
日乃出ふ霞ふ初霞　菊雨女
海ふ松の高松や初霞　霞川

今朝春

柳乃竹ふ春の竹やはるの春　陵山
山ふ春ふ春れ春やはるの春　月坡
春ふ春ふ春の句やけふ春　伊豫　孤龍
市井の世話ふ春　草居

小松あふふ一ふふふ　梅通
ふ松ふ春ふ春ふ春　人丁寿ふ宮ふふ
ふの春ふ春ふ春ふ春　花舎
春ふふれふふ四ふふ　卓池
糸乃柔田新ふふ　沙鴻

宿春

わかくさや色紙ちらすむらの春　南溪

ひと川を霞織なけて花の春　ゝ

新らしき梳の見ひや大家の春　璞山

七十之齢を迎へて

報をれぬ波枕なりぬ此春　悠々

松竹や海老ちられ花の春　呂風

笑顔ふ開きへ男えん花の春　大和　西坡

老懶

瀬上ぶり生も手見花の春　瓢高

嵩の松派る上京す雪を積　月坡

雪垣の遠海る日や春の空　淡節

神春

海原の道みゆ代あり神の春　一㚑

浦春

耳ふ付く松風きゝ浦の春　此松

君春

下居る稲る波せて君の春　几下

明春

仰ぐ朝日乃ふ見やけ乃春　呂風

若水

わか水の据へつく海や雲鬢し　毋南

花の此や年ゝめての嬉しき花　得蕪

若水やよき禪機の会　璞山

名月も汲んでや雲の桔槔　梅通

わらさ川の中の若水の影の色　墨池

門松

門松や岩ねく轉て風の色　林曹

川中やうひ大和の筋　頭水

門松を洗あげうり歩の音
傘きるく酒のうそうり松傍
村山や松ゝ雲ゝ志つめ傍り　草庵

草庵

如ゝ行ゝ戸ゝひさぎ門のきり　悠平

新宅をかろ
百ゝ来ゝ門松賀戸の梅　芹舎
ゆゝり山ゝ田ゝ蕗ゝ蕗ゝ　梅通
ゝけ鯛や百姓の替ゝ換り
飯の粧ゝ物も夢ひてゝみゝ鯛　芳英
紀やゝう年ゝ笑ゝ傍海老　多代女

鯛海老
齒朶
椎鯛

餅炭
福藁
大福
雑煮

果ゝ自然ゝ餅ゝ松ゝそゝかゝり餅　可蕉
切ゝ炭ゝ炭ゝ炭ゝ果報や傍ゝ果　其翠
世ゝ物ゝ世ゝ水ゝ茅ゝて小屋原　楓下
福ゝ藁ゝ藁ゝ藁ゝ藁ゝ藁ゝ麻傍　梅室
宝ゝ宝ゝ宝ゝ大福ゝ大福ゝ片ゝ九　九起
ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ物ゝ　蕪軒
ゝ物ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ　升六
雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ　見外
雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ　閑那
雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ雑ゝ　素堂

年酒　不二雄
屠蘇　柏居
鏡開　乙也
蓬莱　多代女
　　李瞻
　　而居
　　レ
　　蒼虬
　　機下
　　此雲
　　乙雅

喰積　百古
祝暦　稲海
年男　苔莫
　　芹舎
年禮　百古
　　李角
　　柳後
　　里都女
　　麥角
　　碩水
　　百吉

何内

謡初
書初
棚卸
稲積

初夢

御降

猿曳

萬歳

初ゆめや額に掛る餅の塵　梧風

まつものを宿ひ払はれて寝たり　大坂　梅眠

おさがりと言ふも[illegible]しき元日　多代女

御降りや[illegible]の庭や門乃[illegible]　讃岐　梅旭

御降や[illegible]のひの椀の[illegible]　仝　今是

日枝ありて[illegible]　世南

京近し猿曳[illegible]　[illegible]

相引の[illegible]して[illegible]や　松朗

猿曳の[illegible]て[illegible]梅乃[illegible]　[illegible]

万歳の先作法あり[illegible]　蒼虬

まんざいや蓬莱[illegible]の及[illegible]　鳳朗

春駒

年玉

宝引

羽子

手鞠

初子日

万歳の[illegible]　探山

まんざいや[illegible]　三岳

万歳や[illegible]の[illegible]一つらひ　淡斎

[illegible]の[illegible]万[illegible]の[illegible]　雲萍

[illegible]の[illegible]　花溪

[illegible]を[illegible]　霞川

[illegible]を[illegible]　百古

[illegible]　三岳

[illegible]の日[illegible]　多代女

[illegible]日　[illegible]

小松曳

踏に添く引きたる小松引 風朗

松ゆくや残しおきたる神の松 松什

元日草か

松曳くやおほきや神日のさけぬ内 黄山

引きたる跡やなほかれん小枝 ゝ

雛遊り枝葉付たり小松引 成年

小中川帰りくる人あつし東山 秋香女

薺

晴れのちの菜様耳と生菜なり 蒼虬

嵐掛とかれは淋しき薺かな 風朗

垢取や姉の手の香も恥らしき 一茶

二月三日出て難すき薺かな 南渓

若菜

儀の日は又姉乃ままなり 史翠

表の朝よもつまをさ付る姉かな 山外

家刺を余所から摘若菜かな 伯遠

野とつゆく江戸側つゆや若菜売 路夕

尾張

若菜ゆくや雪ても跡は影もよし 楓下

板の目く雪下逢へゆく若菜売 梅旭

三すれ井ときらく浮や若菜籠 梅室

跡や隈葉や桃灯かけて若菜摘 ゝ

野くみ残ぞわけ入て初若菜 木海

と野く摘さしてや後菜摘 南渓

人のくる紙袋摘もあさい若菜かな 鳳朗

美しき然のさまを西やの菓つくり
はれ菊や巴り出れる菓描
貴船をんなや祇園の菓祐
洗ふ流りれられ奴磯ら菓
描ふ鳴き丈つ雪ふるる菓
夏ふれ風やはらくるる菓描
侍の傍の新宮つめる菓つく
七夕や假なる社の桃切り
七夕や無くしたれ七夕菓
なる棒や緑鶯ものふる一梅子
七夕や寄り描ふ目ふるさ

一茶　伐年　芳英　飄齋　里遊女　悠平　布丈　陵山　北巣　鄭富　震川

七種

福壽艸

尤義長

爆竹

いあり　や七夕燈す　待つ　うみ
住住姫の船ふる　ちる　夕の艸
菓れ戸の艸乃うち　ちる　祝夕の艸
船ふ　宮ふ　ふる　みや　福夕の艸
いつ　ふる　ふる　ふる　福夕の菓
ちる　ちれ　ちる　れる　ぬく　夕の艸
夏　欲　多　掘　出　り　祝夕の菓
た義　長　成　福　れ　ふ　ふる　ふる　ふる　ふる
山　陰　や　爆　竹　や　替　る　秋　の　る
せ　活　や　さ　の　孤　織　る　ぬ　爆　竹
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

乙雅　楓下　杜鵑　桂眉　呂川　雨翠　布丈　仙歩　月波　梅裡　竹月

御忌

草萌

梅通　静水　枝月尼　月城　恵雨　西畴　沙鷗　楓下　芳舉　英山

落葉

虎白　蓉堂　里扇　梧風　悠平　鶯居　燕澄　梅裡

蘆芽

安治川

瓢齋

梅の花をゝるはあるりなり
梅ゝ花やゝゝけなるも雪自然　士朗

初梅ゝ

雲ゝゝ花の梅そうめれも　〃
梅のゝゝ花れ梅ゝ梅ゝ　西月
日和ゝゝゝゝ梅の花　〃

法華経序品稿

梅花やゝ白ひも交らハて　沙鷗
ゝゝゝ起れハ梅ハ出るゝ　〃
梅の貴ゝけゝ梅ゝ梅ゝ　〃
梅の枝筆ゝゝゝ人作ゝ　〃

ゝゝゝ梅ゝ白ゝ梅ゝ孫庵　〃
梅ハ花やハの梅ハ梅ハ　卓池
いゝゝ記ゝ花やゝ一梅の梅ゝ　鳳朗
ハ花ゝ梅ハ白ゝて梅の花　〃
梅ゝ梅ゝ梅ゝ梅の花　〃
うめ梅ゝをひつゝりゝて梅　〃
梅ゝを梅ゝ梅の花　〃
梅の木ゝ梅ゝ梅の花　一茶
ゝ梅ゝのゝゝゝゝ梅ゝ花　〃
うめ梅ゝゝ梅ゝゝゝ大ゝゝ　〃
梅ハの梅ハ白ゝ梅ゝ梅ゝ　虚白

山里やこうとうの梅のこぶ　蒼虬
はるの火もおるや梅のこえ　〃
あふりの雲を賛そめて梅の谷　木海
さしくる縄のふ例や寒ぶ也　〃
寒歌盧の面影きしめ此谷　〃
里のこぶ花けく梅の所　南溪
非そうり梅ゝ出花や梅の谷　〃
人の住む島と梅ゝ如寒ぶ也　〃
梅ゝ是れ折ゝ折ゝ梅の梅　梅君
梅ゝ也と咲一口乃俗郷　〃
梅ゝつくゝ俗さへ沢ゝ　世南

木泥也と梅ゝ梅の中乃梅　〃
紅梅のゝゝ梅ゝ梅　〃
梅ゝ梅ゝ梅ゝ

大和の西尾山にてふやふて
山ちの尾ふ咲く梅の匂ひ　梅室
里の竹の迹くく清く梅白し　〃
高義山法せとふるうめ林　〃
八十ふ〻市陌をきるの紅
又高を四方ふ〻梅を新に咲
陽春の樂を訪くふ〻陸
梅を帝に奏〻花の市の梅　〃
ちちの山〻陽ちしめやうめ咲　岱年
あ山も自ふ梅の梅咲き　〃
高〻ふ〻春に加ふ〻ふき梅の色　芳英

四ふ陸ふ〻梅咲き　陸奥　英泉
あ〻後の陸の山〻梅咲　把儀
穀〻陸ふ〻ふ〻梅咲　一具
日ふ陸の梅や陸の一日梅　為山
馬梅ふ春ふ〻ふ〻山〻れ　得蕪
いつ〻ふ梅ふ春ふ小北ふ奥　荷竹
春の春の一陸〻梅ふ　溪齋
梅〻ふ村ふ咲き山て新美い　多代女
畑陸や山〻ふ〻梅の花　〃
中〻ふ白ふ陸や陸ふ〻め　〃
戸ふ〻ふ〻ふ〻ふ〻梅の香　清民

清水流梅ちるや
うらぶれて宮ゐる藤を梅の花　悠平
寒さ逃げうめ寒さ紀ぬの梅の花
咲そめる梅やゆうき蒼数　竹堂
梅の香ちらふやうち梅のえの　竹司
みちのくの柿木の中やうめの花　駿山
山陰やうい里のうる梅の香
降とのふまく梅やあれも　而石
浪源の貝売さうし梅の花　静嘉
梅ちるや主徒ふる姫ぬり
何ものを誘ふる梅の香　応知

御うけの白さうめの花　黄山
果ものうく咲くや数れ雪　恵雨
折られぬ答ちうや晴の梅
白梅や雨ぬるうらる雪さく
雨ぬるうるうやう茶の色　閑那
梅ぬるや降ちうのふりれ
道の眼や梅を歩ちう歩み
咲ちうるうの雪や梅の白
一枝ぬるのうけうきみ梅ぬ　拙守
門ぬ月ぬれ小数ハ梅ぬり　此松
井戸ぬて古ぬ梅や河の梅　草居

南崖　月坡　楓下　砺山　天西　五蕉　今是　梅旭　鶯屋　涼華　九華

下総

道機　演節　草陽　雨翠　乙雅　嚮角　其翠

嶽のわすれ
うめを咲遅のうらの梅
梅の事
雲翠
弦とも牧伝法寺の梅の
梅の事も日の石井の車
飄齋
有の所乃村の井澤素
書の地鄙
人皆ひとしく生ぶ
生のの世仙境なる
やしくふ梅ふかきて梅のさね
事ふ母の所
山乃梅

日の事
村木と書
地形より日の事より梅の中
はしりと答のけ
梅木の中
いもりのふ四の人
梅の事と
うめの事
漢のう
春の
梅のうけ
三河
茶岡
蘐堂
奇鬼
梅敬
兎川
秋香女
巢水

牧斎翁の梅園

[illegible]の[illegible]の[illegible]梅の花　霞川

[illegible]　〃

[illegible]　〃

[illegible]　二松

[illegible]　〃

[illegible]　〃

[illegible]　〃

[illegible]　あり女

[illegible]　里雅女

[illegible]　里郎女

[illegible]　几芳

二[illegible]の[illegible]　柳後

川[illegible]の[illegible]　布丈

[illegible]の梅　梧風

拙蔓の[illegible]梅の花　松朗

[illegible]　〃

[illegible]梅を[illegible]　〃

[illegible]　〃

[illegible]　楚雀

[illegible]梅の花　〃

[illegible]　芹岑

百姓の[illegible]　〃

[illegible]梅花園　〃

[illegible]梅の[illegible]　〃

[illegible]

紅梅

柳

[illegible]の紅梅咲あり
紅梅やうぐいすとまる門梅　百古
御所の梅を[illegible]里乃柳　蒼帆
[illegible]か柳[illegible]　鳳朝
[illegible]や柳さらりと頭口　〃
[illegible]柳やはれ〳〵世の門毒　木海
[illegible]の柳やはれる海　鳥光
[illegible]の柳の長　世南
紙[illegible]柳[illegible]　〃
柳[illegible]　〃
[illegible]の柳　〃

[illegible]の柳
[illegible]下[illegible]柳[illegible]　奇淵
[illegible]人[illegible]や田の柳　梅居
[illegible]柳[illegible]　閑那
[illegible]の柳[illegible]より[illegible]の上　鼎九
[illegible]柳[illegible]　林曹
[illegible]柳や田[illegible]門の左[illegible]　鶯居
[illegible]柳[illegible]　伊豫　旦泉
[illegible]傘[illegible]柳の[illegible]　讃岐　蘋蹬
[illegible]柳[illegible]　霞柳
[illegible]柳[illegible]　碩水

[illegible]の滅くと新とつ柳かな　祖耶
例年[illegible]芽かたし[illegible]柳哉　一其
一[illegible]やさ[illegible]つ[illegible]柳[illegible]　駿山
[illegible]枝の芽の[illegible]柳[illegible]　清民
めぬくとなを[illegible]柳　多代女
ちらくと[illegible]田[illegible]柳　梅裡
例[illegible]柳小[illegible]つ[illegible]　黄山
[illegible]の柳[illegible]　九華
[illegible]の尾[illegible]柳[illegible]　閑令
二[illegible]柳来[illegible]　風光
水[illegible]　仙歩

[illegible]　芳英
[illegible]　百古
一[illegible]つ[illegible]
三条橋
山[illegible]川[illegible]　[illegible]
[illegible]梅の[illegible]柳[illegible]　[illegible]
一[illegible]柳[illegible]　[illegible]
[illegible]の四[illegible]柳[illegible]　[illegible]
破[illegible]柳[illegible]　[illegible]
[illegible]柳[illegible]　[illegible]
[illegible]柳[illegible]　[illegible]

椿

柳後
汁松
震川
芹舎
梅室
木海
世南
平山

草
本
林

沙鷗
而后
黄山
竹司
多代女
千影
悠々
五蕉
芹舎

松花　梅祖
木芽　南溪
若草　一清

要島

[illegible]

椿堂
玄子
梅敬
石鼎
世南
沙路
士朗

鬻

[illegible]

蒼虬
卓池
西月
鳳朗
一茶
虎白
楳沼

世南

南溪

沙鷗

黄山

静嘉

一具

丁知

見外

玄子

多代女

[illegible]の末なれとも掃除せん　筍堂
なを面白かるへき英雄も隠れ里　摽林
日ふかきみ吳もちらむ林の那　勒泥
めぐりもて菊を　悠平
吳やさいまさりの[illegible]　惠雨
うくひすの時の時の[illegible]の[illegible]　九華
吳やいかなうちく枝乃新　南崖
吳て日をくらす時さ眠うか　菫秋
吳乃春ふかきと海るか春　林曹
うくひすの[illegible]　白雀女
英[illegible]　此松

吳やさいまさりの里ひとり　梅室
うくひすの十吳[illegible]　〃
[illegible]ふかき吳[illegible]　〃
藤さもも吳やすみ[illegible]　有節
吳[illegible]　梅通
英[illegible]の[illegible]　〃
うくひすやさの家い[illegible]　〃
吳やさいまさ[illegible]の[illegible]　百古
[illegible]食
吳やいかなうちく[illegible]　鼎齋
[illegible]吳[illegible]梅乃梅　〃

駒鳥　波競
蜆　柳陰
　　金菜
　　其翠
　　東也
　　凍洞
　　奇月
　　芹舎
　　多代女

蛤　欽哉
白魚　梅居
海苔　枫下
　　顔風
　　梅室
　　芹舎
　　南溪

二見ヶ浦
有名なる海の名所
五川
枫下

養父入　鶯丸

[illegible]　梅室

[illegible]　松隣

[illegible]　尺西

[illegible]　多代女

[illegible]　清民

[illegible]　呂鳳

[illegible]　末海

[illegible]　多代女

[illegible]　悠平

[illegible]　一清

余寒

冴還　梅裡

春寒　丶

[illegible]　芥舎

[illegible]　道樓

[illegible]　崔叟

[illegible]　武然

伊吹眺

[illegible]　沙鴎

[illegible]　移嘉

[illegible]　一幽

残雪

雪間

淡雪　流芝

雪解　素屋

凍解　布文

木津川舟中　芹舎

松隣　梅通

松朗　鞠茶

荷舎

梅裡

春雪　鄭亮

宇治川の奥の夕　乙也

水温　百古

菩提山　虚白

蟻兄

伯遠

陵山

岳鳳

而后

霞

人の立事はなれやすくなれや新春
陸奥にうり賣るみちのくの丘の霞
立出るかすみ春の海はるかに
先うれしき霞の間の紙子哉
春の空はるかに小松ちらほらと
霞もてこぶ地とやさとの紫雲
汐の満るに引る鳥もなく
小まつの原はのきなるうり
曲くねの根に花ある岩ふもとの
春もたをりとあるふ漁うり
雲うるまに汐ひるあふ月あるむ

蒼虬
〃
舊光
〃
〃
世南
南溪
梅居
沙鷗
〃
〃

笠ちぬをもたれられ
汐ふの中ゆ春むる並木うれ
春もうり来るあ船うけ春
汐の来る川のようにうる春
春もたるやうにふるあの雨ふる
四ちぬやあの中を人ひ
春ちるのはるあるの付るあるの乱
汐のおもしろふ流ふるゆ春
入あの潮鳥潮ふるのうすみ
目を覚る木乱れ枝
引汐り行あふるる春

應知
梅裡
李曉
〃
覆山
竹司
冬雨
梅曉
惠雨
梅先

賀水
草居
〃

孤龍
石鼎

素屋
〃

鼎花

道後温泉にうかぶ
湯ぶねの底に見えそめし
岩根の苔なれぬらん

鴨越眺望

雲ぬぎ義本越ゆらんと一ときみ
ゆきけり絵やゆ絵やゆ

西照庵にて
海暮れ月出の夕べ絵の上

寂参
梅室
梅通
道機
百古
禾明
其翠
松朗
〃

花ぐもりのわすれ雪ふりそめ
ぬれ人の袖ぬれ
木ぬれ雫や一百ばかり
是雪一通りとなる
イ山ぬれる山ぬれ
ぬれ雨の袖ぬれ
日ぬれ原ぬれ原一面ぬれ
宇治橋の下に網もて魚
川ぬれ柳ぬれ
松ぬれ一帆ぬれ
破山ぬれ
〃

二松
梧風
草陽
響角
秋香女
瓢齋
蕣堂
芹舍

金龍山下夜泊

陽炎

暖

篤志
梅室
卓池
醉西
禾明
可樵
響角
楓下
梅裡

長閑　　升六

逸調　　怒兮

鷺眠　　近江　蕗丈

東風　　菊虬

木海

南溪

多代女

春風　　丈草

士朗

鳳朗

木海

西山行　　武陵

月波

嵐夕

多代女

けるもやさるこの義を所
引あけくれる極の見をの花
をの風をなりの人を思ひ
をなるの小松親くやをの花
水をもて出りの井田をの花

黄山

阿波の社新天神を法華経
ををををををををををををを
しををを今年会の梅花見を

梅理

新をる花せり

静嘉

小松の第四をををををを
ををををををををををを

梅室

飄齋

其翠

奇鼎

春雨

ををををををををををを
ををををの井をを松の山の散り
ばをの経ををを雨の我れの花
ををををををををををを海の乃
ををををををををををををの雨

芳舎

士朗

乙二

道彦

新宅賀

安堵をを家を楽ををををの色
をををを色を梅の雨をを
ををををををををををを
ををををををををををを
をををををををををを

一ぬの春の日作ふあともとり家
かゝと河の鶯なき時よりたる
春の夜や多くの花を作る和尚
春の夜や吉田の森の上に流れ
丁ゝの春の雨あり月もさきさる
春の夜やたゝかの花を作る
春の夜の俤のさゝ濱ゝより
鶯や出の柳乃ゝより春の雨
春の夜や梅提ゝ立門乃口
夏の夜や の鉄砲の音
梅ゝ雨ゝ濱歩やたる夜の

梅室
〃
南溪
樗堂
月居
〃
升六
乙良
此松
春宥

香良洲

春の夜やあき提灯
出ゝ出ゝ船ふ行ゝ
はる夜や牛の鼻ゝ
山近き鶯の音色やたゝの
春の夜や鶯ゝ
春の夜や雪形たゝの作の乾
春の夜やゝ伊勢の国
出船を送ゝ伊勢の国
入山や提灯の塚あり
鶯ゝ打つ音の春や来の夜

梅裡
黄山
李曠
齋堂
芳英
桃下
飄齋
〃

二月

一日　灸

士朗　葛三　沙鷗　雀叟　茶静　嵐夕　木海　瓊山　恵雨　拝後

初雷　沙鷗　其翠　鳳朗　篤老　木海　南溪　虚白　月坡　林曽

初午

彼岸

海苔をいとなみ泣くなれば彼岸
半ばの世話かなけくひろんかな　雋老

涅槃會

そぞろ寒しとのかなしみ仏の
大きなるを賛ふいふこ祢ん像　木海士朗
彩り新しき法ふ名主
鳳朗
鳥の中の如来涅槃の日　木海
ものふらん話嘗ふ涅槃像　雋老
ちらへる法やはなんの幸ふ祢へ　梅室
比丘尼柳ちらや祢ん像
柳のもの人ふ交ふや涅槃の日　〃
泣りのめ位牌のもの祢よ祢ん像　梅山
芹舎

春月

いつ来るとも五日のよれたる月　蒼虬
五日水の井ふ月の来る涅槃の月　〃
人の来る涅槃の月出る月　素葉
里ふ月伊勢ふ来る春の月　風朗
関海ふ月と出る月の月　南溪
山ふ月はふ行ふ春の月　梅室
子来ふ来ふ月の来る月　〃
きはふ花ふ法ふ月の大悪ふ来て
涅槃入ふ行ふ来ふ月の月　駝亭
涅槃ふ発ふ月ふ来ふ月　仙歩
撥ふ来ふ月ふ来ふ月　梅裡

朧月

額みて度こまやかなる
郭公又思ひいりまさる
山の端や出ぬまうすく
樹ごしまで遠方の
御月夜の光まさる九重
はれの仏ふたひらの
松ぶり後合はやおぼろ
なる鳴いの門のそこらやたれ
籠月やまうすく
ふかぬ御なるかな
なりく沈れ
ぬ

駿山　宇舎　篤老
〃　蒼虬
〃　世南　南溪　梅居　曲阜　素屋

朧夜

是ぞ知る人らしや御つき
乗の清涼殿のうしろ
おぼろ月夜に
吹たきく
海ふかく果おぼろ
雪霞まぬ御
まくれ新の
春の夜
夫乃あや
なるの
おぼろ
なりや

此杏　正諷　渉鷗　道機　梅裡　鷺居　蒼虬　士朗　世南
〃　葵園

春鳥囀

雉子

萬籟　世南

梅裡　百古

士朗

蒼虬

南溪　沙鷗

鳳朗

梅室

武年　布珀
鶴齋　西疇
恵雨　李曠
月坡　草居
蟻凡　閑那
芹舎

雲雀

鳳朝
蒼虬
沙鷗
梅室
多代女
竹司
乙良
荷屮

燕

梅裡　月坡
梅曦　五蕉
曲阜　松朗
桃下　鳳朗
世南　沙鷗
李曠

雀子

鳥巣

梅曦　嶺風
瓊山　可樵
春宵　芳英
沙鷗
柳後　梅室
奇淵

帰鴈

西湖　士朗

今一度西湖の春を見ん
咲のこる梅の花なり石部山　蒼虬

浦の波に秋かぜ吹の海辺
雲晴て春をしるなる帰雁　葛之

伊勢の海に波の音しらるる
りて春は山の二列を彼方こそ　篤光

春雨の中の蛙の声
二つ三つ鳴て春の夕暮　椿堂

見るもさぶしたよりの雁
たよりの雁は春の夕暮　世南

沙鳴

多代女

草居

初蝶

梅通

瓦斯の中に春の来るこそ
りて春は伊勢の海の春の
鶯の谷を出て春の来
山越て又春の来るこそ
りて鳳の子なりし春の
帰り来て春の初蝶
きて春の初蝶
花の中を通る春の蝶
神の宮に物ひろふ蝶
蝶の宮の物ひろふ蝶
蝶れ〳〵初蝶を

蓑斎

松朗

沙鷗

岱年

鳳朗

世南

木陰こゝろすゝしき松乃下
女郎こゝろ大きか蛙のなくもの
土たゝき乎踏めたゝるゝ蛙小蛙

蛙めけり

蛙ひとりの孤てあり蛙の池
独小仕て蛙と遊ぶ蛙の声
去乗り蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ
柳小出て風柳やさゝめも蛙の蛙

浪合ふ

り蛙ゝ蛙めけり
津付小来てゝゝゝ柳小蛙

卓池　虚白　沙鴎

黄山　世岐　馳岳　素屋

松隣　五蕉

林ゝ蛙も下ゝ小ゝ蛙
蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ
蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ
人ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ
去ゝ蛙ゝ蛙の蛙や蛙ゝ蛙
蛙ゝ蛙ゝ蛙の蛙乃下
蛙の蛙小蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ
蛙小蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ
蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ
ゝゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ蛙ゝ

道機　梧風　雲萍　芹舎　士朝　蒼虬　鳳朝　沙鴎

世南　南溪

蜂　蚍

[illegible]

而石　梅裡　一清　松隣　梅職　梅石

安藝

芽古　楓下　南溪　枝月尼

田螺

[illegible]

西月　沙鷗　桃下　梅室

描戀

[illegible]

題梅田

[illegible]

人[illegible]　田螺[illegible]

[illegible]

[illegible]

沙鷗　泉池　梅裡　桃下

[illegible]く起て大史伸して梅の蕊
[illegible]いわたり来る男ぬと
[illegible]の世[illegible]おるの梅[illegible]
お[illegible]口出る梅やしらは
[illegible]雲の[illegible]川越て梅の素
[illegible]しるや梅のうつれの[illegible]
[illegible]ゆ[illegible]る梅の素
[illegible]れ[illegible]梅の
[illegible]中[illegible]梅
[illegible]梅[illegible]
[illegible]梅[illegible]
[illegible]の中[illegible]

一茶　枫下　湖那　鬼左　乙也　惠雨　雨翠　怨平　布丈　芹舎

紙鳶

如帝羅[illegible]て[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

野山焼　宋友
畑打　月坡
種下　呑舟
苗代　多代女
菜花　木海
蕪村
士朗
成美
蒼虬
仲六

士筆
蒲公英
蕨

如拂　桃下
梧風
梅敬
木海
道彦
世南
而后
梅室

其翠

三月

雛祭

筑摩社頭

沙鷗　恵雨　蒼虬　鳳朗　梅室　清民　乙雅　雲角　松朗　桃一

汲干

布文　霞川　芹舎　鳳朗　蒼虬

出代

沙鷗　竹司　芹舎　多代女　麥陽

永日　鳳朗

南濱　芳英

鶴左

小候

梅裡

暮遲

春日　南濱

鳳朗

安良居花

初花　世南

樗堂

沙鷗

蒼虬

世南

奇鶴

雲水

銀岱

坂本

藏六

仝

南岳

秋香女

浪華

春星

嵐山紀見記

北洋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の滝白くうち大悲閣の鬼杉の懐ふかしもゆるあと
杉原のせゝの奥ふかくとゝまる　梅さきて赤岩てふふ到り
石上うち[illegible]を移る　宮に又参をあるを
巖をうつす雨梅り梅を[illegible]ゆる　香匂を移らう
梅うり梅り船を川うち流うる面の岸ふつなき法
輪ふ[illegible]すに入れ徒歩法たれを

[illegible]一枝ゆる[illegible]　とつきみ
清く波月梅をかうをの[illegible]とうの[illegible]
のもの[illegible]又[illegible]ふ[illegible]六[illegible]乃[illegible]の[illegible]く[illegible]
十九の月[illegible]山の[illegible]
[illegible]

おもしろく
梅をもとめもとめ　世南
清き[illegible]梅の[illegible]
なと初[illegible]を清のり求めくさもとふ[illegible]九日
[illegible]梅梅の二[illegible]
[illegible]
波月梅[illegible]
[illegible]
あらしの[illegible]
[illegible]大悲寺の禁[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

桃

木毋もの咲かぬ春に咲き初めし　梅室

伏見人形の毋もやとも此花や　士朗

伏見人形の毋もやとも此花や　蒼虬

伏見人形の毋もやとも此花や　木海

二ッ屋

さくらむ時来や桃の乃もり　而后

木だちも毋もの此花の花　李曠

さむ春ひとり桃の花　多代女

川添ひや毋も安さふと此花　乙良

桃さくや桃と毋の花　西疇

毋もの花の桃と桃の花　悠々

毋もの花の桃と桃の花　鵬九

二月八日

賀八十寿

八十路の桃の花咲かり　州居

毋もの花の桃の花　芹舎

郡を知る東に毋を送る

桃さくや毋の山

小春や毋の山　梅室

山ちかき毋の山　千影

毋の山　黄山

毋の花　九華

梨花

海棠　梅裡
采囊花　應知
沈丁花　沙鷗
木瓜花　芳英

躑躅　沙鷗

藤　漁翁
一茶
西天
枫下

菫

御風
静嘉
芹舍
道彦
蒼虬
木海

鳳朗

沙鷗

[illegible]　月居

[illegible]

春日路侍情

[illegible]　世南

[illegible]　閑那

[illegible]　月坡

[illegible]　瓊山

[illegible]　駝岳

[illegible]　黄山

[illegible]　李曄

櫻草

五形

[illegible]　悠平

[illegible]　梅通

[illegible]

[illegible]　芳英

[illegible]　其翠

[illegible]

[illegible]　飄齋

[illegible]　奇鴨

[illegible]　芹舍

[illegible]　一茶

[illegible]　鳳朝

連翹

山吹

月居
鴨龙
桃下
松朗
芹舍
鳳朗
沙鴎
梅居
多代女
月坡

青麥

我竟
李曠
悠平
芳英
芹舍
鳳朗
沙鴎
多代女
飄齋

別霜　鴨九
茶摘　楓下
　　蒼虬
　　嶺風
蚕　　正諷
　　楓下
　　井舎
　　鴨九
　　一茶

若鮎　而后
曳鶴　素屋
呼子鳥　飄齋
春山　一茶
春海　奇淵
　　黄山
　　蒼虬
　　月居
　　奇淵
　　黄山

春水

見めらるたちめ時しやたの水　篤老
夜の水曲りくの面しらや　成美
淀ふる淀のとれやや夜の月　鳳朗
海へ入るみなと失せる夜の月　月居
添ひさく枝たさやさの水　世南
人里をけおまてれやや春の水　黄山
枝ちてくさ春ちらくつれる　李曠
日淀り小淀やくしけるの月　恵雨
吸ふ北淀くやらやや夜乃水　嵐夕
流るやかこりてれ淀ちれる　芽古
淀中小木新のさらやや夜の川　梅裡

暮春

横ふ木を人向もせいふ夜の雪　西月
三月一日ふて雪ふれる
今日くるめたちち沙の影乃雪　沙鷗
はかもうの見えぬ眠や雪夜　多代女
やよ風ふて雪の影丈へ　一茶

行春

新川漁舟

春乃やの淀川乃よ淀より　沙鷗
暮豊亭探歌
竜乃涙かふ木ふ乃木ふ　〃
ふ淀ややふて世の夜乃影　〃
り春のひふ淀ふ小舟ふ　世南

住吉の月　木海
いく春の月にうつりぬ竹の影　黄山
春の月ゆくへ定めぬ雲の山
宇治夜泊
あかつきの月のかたぶく山の端　樊外
春帰人寂莫
のちの世の春をかぞへて竹の門　飄齋
ちるを思ひ帰るを思ふ春の名残り　篤老
世の春を今宵の月に惜しみ山　李曠

春雜